

その他の建築工事業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	当社敷地内に於いて、倉庫解体工事に使用するガスボンベ（高さ約1.3m、直径約20cm、重さ約20kg）を4tユニック車の荷台に積み込んでいた。トラック後方のアオリに足を掛けて作業をしていたところ、足を踏み外して約1.25m下の地面へ左手より転落した。	56	10～29
1	11～12	トラックの荷台の作業中に足を滑らせて荷台より転落した（高さ1m程）。	30	—
1	13～14	残土置場敷地内において、2トンダンプにより残土搬出作業中、ダンプの荷台のフタと車両の後部に大きな石が挟まり、手で石を取り除こうとしたが石が外れた反動で荷台のフタが勢いよく閉まり、右手親指をはさみ負傷した。	36	—
1	15～16	駐車場にて自社トラック荷台上で機械、荷物の片付け作業中、誤って足を滑らせ転倒し、荷台から地面に落下（1.2m）した際、左手首を地面につき負傷した。	53	—
1	9～10	道路の工事現場で、2tダンプトラックの運転手（被災者）が、エンジンを始動した状態で、ギアをニュートラル、サイドブレーキをかけて停止し、車両確認のため、キャビンを開いて点検してたところ、車両が自走しだした為、運転手（被災者）が車両を停止させようと近づいて、車両の後輪に足を巻き込まれて骨折した。	54	—
1	11～12	コンクリート撤去作業中、ダンプカーがスリップして動かなくなり、運転手がダンプカーからはなれたため、バックホーを運転者がバックホーを降りてダンプカーに乗り、事故を起こしてしまった。	62	1～9
		4tダンプで産業廃棄物（コンクリート）を荷下ろしする際、ダンプ荷台を上げて中立にした状態で、荷台に引っ掛かっていたコンクリート殻を手で引っ張って降ろす		

1	15~ 16	作業をしていた。ダンプ荷台の鉄板は、荷下ろししたコンクリート殻に少し引っ掛かった状態だった。上げた状態で中立にしていたはずのダンプ荷台が、少しずつ降下しているのに気付かず、作業を継続していたところコンクリート殻に引っ掛かっていた鉄板が外れ、勢いよく動きだし、その際にダンプ荷台と鉄板の隅に左手の甲を挟み、打撲した。	33	1~ 9
2	15~16	製作所内建屋解体作業で、出た廃材をトラックに積み込む作業をしていて、トラックの荷台から飛び降りた際左腰にズキンという痛みを感じた。翌月初め頃まで痛みを我慢して仕事を続けていたが、痛みがひどくなってきて、その次の日の朝から痛くて起きられない状態だったので寝ていた。午後になって我慢が出来なくなって治療を受けた。	39	10 ~ 29
2	18~19	当社の資材置場の整理作業において、工事に使用した残材を運搬する為、2tダンプカーに「コンボ」でコンクリートの「ガラ」を積み込み作業中、荷台上で「コンボ」で吊り上げて降ろしたコンクリートの「ガラ」のワイヤーを外す作業中、1つ目のコンクリートの「ガラ」を積み終わり、荷台から降りようとした時、荷台の「アオリ」の角に足が引っ掛かり、高さ1m20cmから転落して負傷した。	62	1~ 9
2	7~8	軽トラックで現場の個人宅に向かう途中、点滅信号赤で歩行者有りの為、停車していたところ、水産物地方卸売市場より駐車場を通り道路に出て右折した2t保冷車が後ろから追突した。（軽トラックは運転者と同乗者、計2人。）停車中の後ろからの追突人身事故100：0で過失0である。	39	1~ 9
2	12~13	現場で使う材料を購入し、一旦自社倉庫にトラックで運んだ。荷台の上に乗る、片足をへりに掛け、地上にいた社長に材料を渡す際に掛けていた足が滑り、体をひねりながら腰から落下した。その際体をかばおうと両手を地面に強く打ちつけた。	65	1~ 9
3	13~14	当社敷地内において、配送車のタイヤ泥除け部分をしゃがんで清掃中、事務所の方より声が掛かり振り向き立ち上がる際に膝を捻ってしまい、左膝を負傷した。	73	10 ~ 29
3	16~17	資材置場において、トラックに積んである部材を下ろす際に足の置場がない状態で作業したため、誤って部材を踏み足を滑らせトラックより落ち、近くに置いてあっ	27	1~

		た資材用ラックに右脇腹を強打した。		9
3	15~16	解体作業の廃棄物廃材を整理中、滑ってトラック内で転び、指を骨折してしまっ た。	22	1~ 9
3	15~16	記念碑の修繕工事現場にて、石材をトラックの荷台から降ろす作業中、荷台から地 面に飛び降りた際に右足の踵から着地してしまい、右足首を負傷した。	70	1~ 9
3	9~10	事務所から営業へ出発するため、出発予定の時間が迫っていたので急いで営業車へ 向かう途中、事務所出口付近に停まっていたトラックに梯子が乗っていたのに気付 かず、顎を思い切りぶつけて骨折した。	19	10 ~ 29
4	16~ 17	当社足場資材置場において、トラックに資材積み込み作業の際、最後に資材固定の ためトラックの荷台に乗りベルト掛けをしていて、勢い余って高さ約1.5m下の地 面に右ひざから転落し損傷した。	32	1~ 9
4	16~ 17	資材をトラックに積み込むため荷台の扉を開けたところ、体勢を崩して後方に転倒 し負傷した。	39	10 ~ 29
4	9~ 10	会社敷地内でトラッククレーンの荷台で資材の片付けをしていた時、荷台から下に 降りる為、左側のアオリに足をかけた際、アオリのロックがはずれており、アオリ が開き、バランスを崩して転落し右手と顔面を打った。	55	1~ 9
4	11~ 12	角材（100×100×4.5、約1m800）を4本横に並べて室外へ出そうとクレーンを使 用し移動していた際、角パイプ上に右手を乗せていたため、移動中に角パイプが集 まり右手親指を挟んだ。対策として、クレーン使用時には手を乗せたりせず、角 材を移動する時は重ねて移動することとした。	32	1~ 9
4	9~ 10	社内で4tトラックに資材を積み込みトラック荷台に乗り、荷締め機をしようとした ところ足元が滑り、腰から落下した。	35	10 ~ 29
5	13~ 14	当社敷地内において、ゴミを片付けるためにトラックの荷台に乗って作業していた 際に、バランスを崩して荷台から落下し、左手等を強打した。	66	30 ~ 49

5	13～ 14	個人宅解体工事現場において、4tアームの荷台で、木屑を積み込み作業中に誤って荷台から落下し、右足・右股関節・右手を強打した。	74	1～ 9
5	8～9	10tダンプ搬出時に、搬出口右側の誘導員が後方の自転車を確認し「ストップ」と声を掛けながら、10tダンプ正面右前輪側へと接近した。10tダンプ運転手は窓を開けていたが、その誘導員の声と存在に気付かずに前進し、10tダンプ正面右前輪が誘導員の右足に乗り上げた。	32	30 ～ 49
5	9～ 10	処理場に向かう途中、コンビニの駐車場でトラックの荷台を整理していたところ、雨が降っていて足元が滑り、ガソリンタンクと共に荷台から落下し、右手を骨折した。	53	1～ 9
6	15～ 16	当社車庫にて、ポンプ車に乗車する際、ポンプ車のステップから足を踏み外し、左脛脛を負傷したものである。	54	1～ 9
6	10～ 11	被災者は作業車荷台の上で、撤去したPHSアンテナが高所作業車から降ろされてきたため、ウインチロープフックから取り外しを行った。フックの取り外しが終了し、作業車荷台の右後方から降車を始めた。降車時、荷台あおりの手すり部を両手で握り、あおりを跨いだ。左足を後輪タイヤの上に乗せ、右足を車道部より一段高い歩道部へ置こうとしたが、誤って歩道部と作業車との間（段差20cm）に降ろし、体勢を崩して右足首を負傷した。	30	100 ～ 299
6	17～ 18	帰社後、自社駐車場において車から現場道具を搬出している際に、誤って車両から転落し、骨折した。	41	10 ～ 29
6	11～ 12	木造物置を解体中、4tダンプ荷台上に乗り、積まれた材を本人が一人で揃えていたところ、釘が見えて危ないと思い避けた時にバランスを崩し、1.5m位下へ落ちて動けなくなり、肋骨を折ってしまった。	69	1～ 9
6	15～ 16	当社資材置場において、足場材料をトラックの荷台に積みこむ作業中、被災労働者は、トラックの荷台の上の材料の上に乗し、下から持ち上げられた材料を受け取って積みこんでいたところ、誤って足を滑らせてしまい、高さ約1.5～2mからアスファルト地面に落下した。その時、咄嗟に左手を地面についたところ、落下の衝	26	1～ 9

		撃で手首を骨折してしまった。		
6	11~ 12	当社資材置き場でトラックの荷台から型枠材を降ろす作業中、誤って足を滑らせ（高さ2m程）転落し、地面へ胸を打ちつけ負傷した。	55	30 ~ 49
6	13~ 14	資材倉庫にてトラックに型枠資材を積み込み作業中、最上部に積んだパイプサポーター材が斜めになっており、荷締めのために向きを整えようと、積み荷の上に登り移動中に、足を滑らせバランスを崩し、約2m程の高さから地面に飛び下り着地した際に、左足踵に負担がかかり負傷した。	63	1~ 9
6	15~ 16	解体工事の際に発生した有価物（アルミサッシ）を資材倉庫に運び、トラックから積み降し作業をしていたところ、足を踏み外し、トラック（高さ1.5m）から落下し、手をついたため負傷した。	69	1~ 9
6	15~ 16	個人宅解体・土間工事において、3tダンプでコンプレッサーを返却しに行き、コンプレッサーを降ろすためにダンプのサイドのアオリを倒していたので、返却後、そのアオリを元に戻すため、勢いをつけて持ち上げたところ、右肩に激痛がはしり負傷した。	55	1~ 9
7	7・8	人参畑にて、トラックの荷台で作業を終え、荷台から地面に降りた際、膝を痛め負傷した。膝に違和感があった。	41	1~ 9
7	8・9	ダンプのバンパーに両足を乗せて荷台のセメントを引っ張り下ろそうとしたときに、左足から地面に降りたが、地面のアスファルトまでの距離が思ったよりもあり、つま先立ちになってしまい、左足に体重がかかり、足を痛めてしまった。	62	1~ 9
7	15~16	積み荷の締め直しのため路上にトラックを止め、荷台で荷物の移動をしていたところ、小さい型枠材（パネルの加工材）を大きいパネルと勘違いし、足を置いたところ天秤になりトラックの荷台から転落、身体を支えるため右手を着いたときに右手首を骨折した。	25	10 ~ 29
7	10~11	木造住宅解体工事現場で、4トンダンプに丸太の束（約30本）を積載する作業において、被災者が丸太のワイヤーを外そうとしたとき、バランスを崩して約2.5メートルの高さから地面に転落した。背中から転落し、頭部と右肩を打撲した。痛み	36	50 ~ 99

		が酷くなった。第七頸椎の骨折と判明した。		
7	14～ 15	木造2階建ての基礎工事現場で、トラックを移動するにあたって指示した場所とは違う場所に停車をしてしまい、その場所が坂道でサイドブレーキの引きがあまりのと、ローギアに入れていなかった為にトラックが下がり、それを止めようとして後方にある電柱とトラックに挟まれた。	38	1～ 9
7	14～ 15	足場資材をリース会社に返却するために、足場資材をトラックに積んだあと、積荷の上に管リベルトで荷締め作業中に、締め込むためにジャッキに体重を掛けたとき、ベルトに掛けている金具が外れ、トラック最上部から後方（背中、後頭部）へ墜落した。その際に後頭部を強打し、直ちに救急車で搬送された。尚、被災当日はヘルメット着用の徹底指導が出来ておらず、また、体重をあずけたジャッキの締め方については何度か注意を行っていた。	20	1～ 9
7	14～ 15	廃棄収集運搬後の帰社途中、交差点にて、信号待ちで停車している大型トラックに後方から追突した。	59	10 ～ 29
9	8～9	お客様の依頼のため古タンスとソファの処分の請負をした。2階の部屋より一度屋根に出してから、人力で1.5tトラックの荷台におろす時、荷台にソファを受けとり支えていた、支えていたソファの下にダンボールがあったので、事業主がそのダンボールをジャマだと思い取り除こうと引っぱったら、ソファが倒れてきてバランスを崩し、そのまま後向きに1m下のコンクリートに転落した。	66	1～ 9
9	11～ 12	被災者は駐車場内にて改修工事に出たごみの片づけを行っていた。2tトラックの荷台にゴミを積んでいてトラックの荷台に上がったところ、足を滑らせふらついた際、駐車場内にたっている鉄柱に後頭部をぶつけ、そのまま荷台から落下してしまった。	22	10 ～ 29
9	9～ 10	造成工事現場でダンプの後方であおりを開けようとした際に、あおりのフックが外れたため落下。その際、左足先に当たり負傷したものである。	25	1～ 9
9	7～8	資材置場から2t平トラックで足場材運搬時に、料金所手前のカーブで車がスリップし、車両右折部が壁面に衝突した。その際、助手席の資材運搬補助者（18歳）が負傷した。原因は、雨の為、車がスリップしたものである。	18	1～ 9

9	15～ 16	自社資材置き場にて片付け作業中トラック荷台から荷物を取ろうとした時に、荷台の角で胸を強打してしまった。痛みはあったが病院に行かず様子を見ていたが痛みが治まらないため受診し、肋骨にヒビが入っていると診断された。	43	1～ 9
9	17～ 18	解体・他工事の現場にて、大型ダンプの荷台上で、コンクリートがらに混入している異物を手作業にて除去する作業中に、荷台の枠に足をかけた際、踏み外してそのまま地面に転落し、左手を負傷した。	28	1～ 9
9	18～ 19	前のトラックが急ブレーキをかけた。自分が運転していたダンプも急ブレーキをかけたが間に合わず、前のトラック荷台に衝突し事故となった。	43	10 ～ 29
9	10～ 11	2tトラックをとめた際、サイドブレーキの引き忘れにより、トラックが流れて壁とトラックの間にはさまり負傷した。	34	1～ 9
10	17～ 18	当社資材置場に於いて、トラックに建築材料を積み込み作業中、荷台で材料を積みやすくする為、整えている際、雨の為足を滑らせ荷台より転落。その際右肘左手親指等を強打し、同部を受傷したもの。	57	10 ～ 29
10	15～ 16	加工場において、荷卸し作業終了後、昇降用立ち馬を使用せず、大型トラック後部より（H1.2m）飛び降り、足を滑らせ右手をついた時、右手首を負傷する。	46	10 ～ 29
10	8～9	資材を2tトラックの荷台に積み込み終了後アオリを上げた際に左手薬指を挟み込んでしまった。	26	30 ～ 49
10	8～9	大型ダンプの荷台（コンクリート廃材が積まれた状態）に乗り、ショベル（バックホー）を使ってコンクリート廃材を積み込む作業を行っていた。廃材を積んだバックホーのバケット（コンクリートをすくう部分）が荷台まで移動してくるため、運転席の左側へ身体を退避させた。その際、コンクリート廃材に足を取られ、2m下の敷鉄板上に落下した。両手をつき前頭部を強打し負傷したもの。左手首骨折、右手首ヒビ、前頭部打撲と診断された。	38	10 ～ 29
	19～	会社工場にて荷降ろし中にトラック荷台から転落し、左肘に工具がぶつかり、刺		10

10	20	さって骨折した。	30	～ 29
10	14～ 15	倉庫（農業作業小屋）建設現場において、軽トラックの荷台にハシゴ等の材料を載せ、ロープで固定する際、ロープのかかり具合を確認せず全体重を乗せ頑張ったので、ロープが外れ後ろに転倒し、ミニバックホーのゴム走行用ベルトの角で背中を打った。	46	10 ～ 29
11	11～ 12	住宅解体撤去工事現場でコンクリート殻を拾っていたところ、10tダンプのあおり（高さ約2m50cm）にコンクリート殻が引っ掛かっていたのに気付かず、ダンプの真横まで行ってしまい、地面のコンクリート殻を拾っていたところ、あおりに引っ掛かっていたコンクリート殻が落下して背中にぶつかり負傷した。	76	1～ 9
11	11～ 12	道路の路肩にてチビダンプトラックの荷台でシートやロープの片付けを行っている際、シートが風に飛ばされそうになったため、慌ててシートを引き寄せようとした時に誤ってチビダンプトラックの後部荷台から転落した。	58	30 ～ 49
11	14～ 15	第三工場6B絹ラインのシール機にて検品・シール作業中に、シール直前箇所のフィルムにたるみが発生し、シール機を運転させたままの状態ですたるみを直そうとして、安全カバーの隙間からシール部内に手を入れたところ、可動部分に手が入ってしまい、負傷した。	30	1～ 9
11	17～ 18	営業所内の資材置き場で、足場用の単管を整理作業中トラックの荷台から降りようとして、約80cm下の地面に転落した。この時に左手首を骨折したものである。	28	1～ 9
11	8～9	事務所に隣接した資材置場で、トラックに資材を積み込もうと荷台に上がった際、バランスを崩し、コンクリート地面に落下し腰部を負傷した。	36	1～ 9
11	7～8	会社へ出勤後、会社の車（軽トラ）で現場に行く途中、交差点において出会い頭の衝突事故に遭い負傷した。	46	1～ 9
11	16～ 17	停車しているトラックの荷台で積み荷の廃材が緩んでいないか確認しようとしたところ、荷台に掛けた足と廃材に掛けた手が滑り、廃材ごと路上に落下した。落下した際に廃材の尖った先が左の脇腹に刺さった。	28	1～ 9
	19～	事務所駐車場においてトラックの荷台の上で積荷（足場資材）の整理作業中、足を		1～

11	20	滑らせ転倒。そのまま約1.5mの高さから車の下へ落下。左足を強打した、重傷とは思わず、翌朝になって病院へ。手術を要するため同日、別の病院へ入院した。	42	9
11	13~14	個人宅建具解体工事において、廃材を袋に詰め4tダンプに積み込み作業中、荷台から足を踏み外し約1mの高さから落下し負傷したものである。	60	1~9
12	13~14	新築工事現場から集めてきた木くずを焼却するための置場（作業場）にトラック（平ボディー）の荷台から木くずを降ろし終わって荷台からおりる際に足を滑らせ左脇腹を強打した。	70	1~9
12	15~16	会社の資材置場で、トラックの荷台に資材を積み終わり、荷台から降りようとした際、躓いたので自ら地面に飛び降りたところ、バランスを崩して転倒し、肩・背中・頭部を負傷した。	71	10~29
12	13~14	4tダンプに積み込んであった廃材をおろす作業をしていたところ、荷台のあおり高さ約2mに廃材が引っ掛かっていたため、それを外そうとキャビンの上面からあおりの上に登ったところ、バランスを崩して高さ3mの所から地面に落ち、左手をついた。	48	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html